

科学研究費助成事業（特別推進研究）研究進捗評価

課題番号	23000001	研究期間	平成23年度～平成27年度
研究課題名	経済危機と社会インフラの複雑系分析		
研究代表者名 (所属・職)	矢野 誠（京都大学・経済研究所・教授）		

【平成26年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
（評価意見）		
<p>本研究課題は、市場の質をキーワードとする新たな政策パラダイムを構築し、複雑系の視点に立脚して経済危機と社会インフラの問題に理論的・実証的に取り組んでおり、独創性に富んだ貴重な研究である。その研究成果は、国際的な学術雑誌に質の高い論文が報告され、世界の研究をリードしている。複雑系の理論分析については、既に一応の目的は達成していると評価される。複雑な現実の問題に対する難しい挑戦であるが、新たな政策パラダイムに立脚したエビデンス・ベース・ポリシーの構築と推進に向けて、当初予期していなかった幾つかの研究の進展も統合する形で、今後、データ構築と実証分析の研究が進むことが期待される。</p>		